

# 盗難されない傘

## Umbrella that cannot be stolen.

大原 滂

指導教員 谷上 欣也

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 プロダクトデザイン研究室

キーワード：傘, 盗難, 鍵

### 1. 研究目的

近年増加傾向にあるゲリラ豪雨。そんな日に「数分コンビニに立ち寄っただけなのに傘が盗まれていた」という盗難被害が多発している。そんな被害を減らすべく、一目で使えないと認識できる傘の形について研究を行うこととした。

また、盗難されなくなることによりビニール傘の使い捨てという概念を捨て、地球環境に配慮することを目的とする。

たものである。外出中に紛失すると回答した人がおよそ3分の1を占めた。さらに、44.6%が紛失したり、盗まれたのを理由に傘を変えていることがわかる。

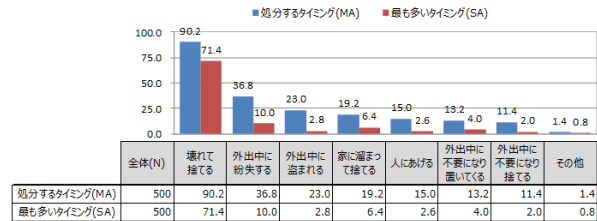


図2. 傘を処分するタイミング

### 2. 調査内容

#### 2.1. ビニール傘の用途

図1はビニール傘の使用率を年齢別に表したものである。その結果、30代以下は約半数がビニール傘を普段から使っていることがわかった。

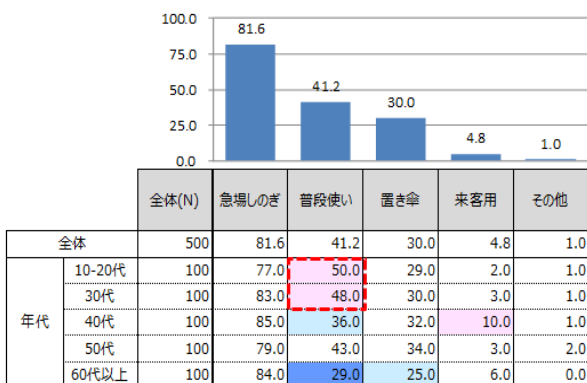


図1. ビニール傘の用途

#### 2.2. ビニール傘を処分するタイミング

図2はビニール傘を処分するタイミングを表し

#### 2.3. 盗まれない傘の特徴

聞き込み調査から、傘立てに置いてあっても盗まれない傘は「明らかに壊れている」、「派手なもの」、「汚れが目立つもの」だった。また、盗難防止対策として、「傘立てには入れずに持ち歩く」、「自分のだという目印をつける」、「盗みたくない文字のテプラを貼る」などがあつた。

### 3. 現状調査

盗難防止グッズとして頑丈なワイヤーを用いたものや鍵のついたもの、離れたり、盗まれそうになると音が鳴るものなど様々なものが存在する。

傘にも商品化はしていないが取っ手が取り外し可能なものや鍵のついたものを自作する人、警視庁と書かれたテプラを貼っている人もいたようだった。しかし、現在市販されているもので盗難防止機能が付いたものはない。

#### 4. 分析

他人のビニール傘を盗む心理は、「ちょっと借りる」くらいの軽い気持ちである。自分が濡れなければ他人がどうなろうと関係ないという自己中心的な考えを持つものもいる。

傘立てから抜かれる前に「使えない」ことが分かれば、その傘を盗むことはないのだと考える。

#### 5. コンセプト

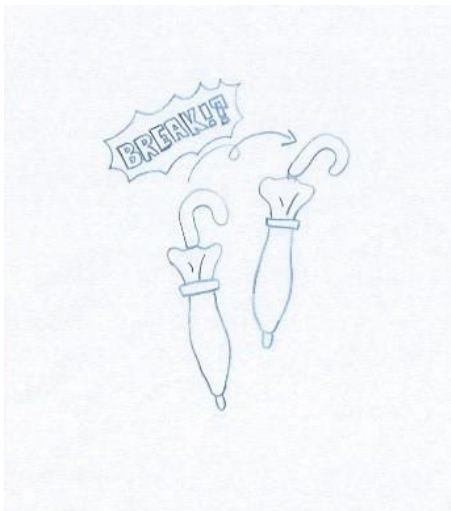
「パッと見使えない」

現状の対策では犯人の気持ちの問題で、盗もうと思えば簡単に盗めてしまうものばかりである。そこで、「使えない」ように見せることで盗難防止につながる傘を提案する。

#### 6. デザイン展開

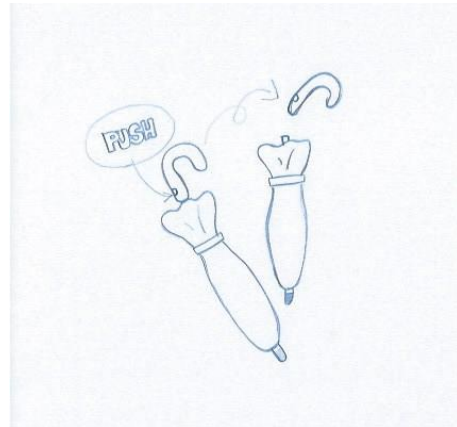
##### 6.1. 取っ手が壊れているように見える傘

調査から、明らかに壊れている傘は盗難されづらいという結果があるため、取っ手が折れているように見える傘。



##### 6.2. 取っ手が取れる傘

ワンプッシュで簡単に取っ手を着脱できる傘。取っ手のついていない傘をわざわざ盗もうとは思わないだろうという狙い。



##### 6.3. 鍵のついた傘

暗証番号を合わせないと開くことのできない傘。使えない傘は盗まれないであろうという狙い。



#### 7. 今後の課題

現段階での案を再検討し、試作を制作する。その試作を用いて盗まれないか、盗みたいと思わないかなどインタビュー形式で検証を行いたいと考えている。また、機械的な構造や色彩なども含め詳細を詰めていく。

#### 参考文献

ビニール傘に関するアンケート調査株式会社  
ASMARQ  
<https://www.asmarq.co.jp/examine/ex2705bin-i-ru-gasa.html>